

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.54

発行日：2020年6月10日

発行責任者：西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 TEL・FAX 093-662-9278

〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10 E-mail krc-fn@jcom.home.ne.jp

福岡ランニングセンター(FRC) <https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/running/>

第35回月例マラソンも中止して練習会へ



5月17日(日)のみずまき月例マラソンは、引き続き新型コロナウイルスのため中止となり、4月同様に練習会を実施することとしました。

当日は曇り空、気温は平年を上回りました。非接触型体温計での体温チェック、殺菌・消毒綿の配布、スタッフはマスク着用です。

1キロの部は9時スタートで12名の参加(トップは4分34秒)。

5キロと10キロの部は9時15分スタートで5キロは4名(トップは19分56秒)、10キロは8名

(トップは41分07秒)の参加でした。

参加者は先月に比べ大きく増え、月例マラソンの登録希望者も複数ありました。



1キロの部スタート

第36回月例マラソンも練習会に変更!



東屋

水巻町に水巻町遠賀川緑地の使用許可申請をしましたが、6月末まで閉鎖とのことでした。

従って、6月21日(日)の「第36回みずまき月例マラソン」も練習会に変更します。

スタッフは猪熊駐車場の東屋にいます。テントも張っていません。参加費等も取りません。給水所も設けません。各自飲み物等は準備して来てください。

コロナ感染対策として、人と会話する時はマスクを着用して1m以上離れてください。

走るときはマスクを外してもかまいませんが、離れて走ります。

走られる方には非接触型体温計で体温を測り、消毒液も置いて感染対策を取ります。

9時に1キロのスタートをして1キロトラックを一周します。

9時15分に3キロ・5キロ・10キロのスタートをしてサイクリング道を往復します。

各自のペースでスタートしてゴール

第12回にここにこペースの平和マラソン開催

今回、コロナ感染対策での平和マラソンを、タイムトライアルで実施することにしました。

密集と密接を避けるため、集団で走らず、それぞれが12時に小伊藤山公園へゴールするようにスタートします。申込書には、自分の走るコースと、そのコースをキロ何分で走るかを申告していただき、そのペースに合わせてスタートをします。受付後、各自のスタート時刻とコースをお知らせいたします。

サポート車はA・B・Cコースは9:00、Dコースは10:30にスタートして8分/kmペースで移動します。

サポート車より遅れてスタートする方で、サポート車に荷物を乗せたい方はスタート時刻まで来てサポート車に荷物を乗せてください。

サポート車より遅れる人はサポート車に救護されます。

日 時：2020年7月26日（日）ゴール集会：小伊藤山公園 12:00～12:30 解散
コース：<A> 門司港コース（20.39 km）出発：門司港駅 9:00→〈100分/12.49 km〉
 勝山公園（長崎の鐘）10:40→〈63分/7.9 km〉 小伊藤山公園 11:43
 八幡駅コース（洞海湾一周 20.46 km）出発：八幡駅 9:00→〈42分/5.28 km〉
 戸畑渡船場 9:42→9:56～若松渡船場 9:59→〈43分/5.42 km〉 奥洞海駅 10:42
 →〈78分/9.76 km〉 小伊藤山公園 12:00
 ※渡船料金 大人 100 円、障害者・65 歳以上 50 円（障害者手帳・年長者施設利用証）
<C> 下曽根駅コース（16.86 km）出発：下曽根駅 9:00→〈72分/8.97 km〉
 勝山公園（長崎の鐘）10:12→〈63分/7.88 km〉 小伊藤山公園 11:15
<D> 折尾駅コース（8.31 km）出発：折尾駅 10:30→〈66分/8.31 km〉
 小伊藤山公園 11:36

注）二重下線の所からも参加できます。

参加費：1,000円（スポーツ傷害保険加入含む。当日集めます。）

申込み締切：7月20日（月）必着（申込書別添）

備 考：①交通ルールを守って、歩道を走ります。

②サポート車は2～3km毎に給水しながら走ります。その他の給水は各自でお願いします。

③走った後、自然の館でシャワー等の利用ができます。希望者は懇親会（有料）をします。

福岡ランニングセンター第6回総会開催

去る5月17日の日曜日14:00より、コロナ禍による自粛の影響で延期されていた福岡ランニングセンター第6回総会が出席6名、委任状提出8名の参加により、自然の館（北九州事務所）で開催されました。

前年度の活動報告・会計報告が承認された後、今年度の活動方針・予算案の討論では、

●自粛による状況下でプロ・アマを問わずスポーツ界全体が試合ができない、練習もままならない等、厳しい現状があり、ランニングセンターも例外ではない。

こうした中、月例を練習会に振り替えてランナー・会員の要求に応えた経験。

●役員の高齢化の解消のため、新たな役員を迎い入れより活力のあるランニングセンターの継続発展を図る。

●月例単独での会計黒字化の定着。

●講習会の実施等の創意工夫により、魅力ある運動を造り上げてゆく。

等々の意見が出された後、満場一致の採決により今年度の活動方針・予算案が承認されました。

次期役員選出では、（会長）西村、（副会長）神田、田淵、（事務局長）淵上、（委員）宮地、山元（以上全員再任）が選出され、今後のランニングセンターの躍進を誓い合って終了しました。

また、県連盟理事には田淵、淵上、宮地の3人。県連盟総会代議員には田淵、淵上、宮地、山元の4人を選出しました。

《役員だより》

女子プロレスラーの木村花さんが5月23日遺書のようなものを残して急死した。原因はネットによる中傷らしい。インターネット上での誹謗中傷による人権侵害は芸能人やスポーツ選手だけでなく一般市民にも及んでいる。

2017年6月に東名高速で起きた煽り運転による死亡事故をめぐり、まったく無関係の北九州市八幡西区の建設会社がインターネット上に、うその書き込みをされ被害に遭っている。書き込みの後、無言電話や罵倒する電話が多い日で1日100件以上あり、一時休業を余儀なくされた。

この事故をめぐっては「煽り運転」をした男の姓が、会社名と同じ。所在地が、被告の住所である中間市から近い八幡西区だったことなどから、「被告の勤務先」とインターネットに書き込みが行われた。

建設会社の社長はその後、うその書き込みをした者を、名誉毀損の疑いで刑事告訴。福岡県警は2018年6月名誉毀損容疑で書類送検したが、検察は全員不起訴とした。まさに殴られ損である。

しかし、検察審査会が「起訴相当」と決定したことにより、起訴された5人に20年4月、罰金30万円の略式命令が出た。

インターネットの投稿サイトは、著名人以外は殆どが匿名である。匿名をいいことに「軽い気持ち」での書き込みが多いので、情報を鵜呑みに信用せず、また「いいね」や「リツイート」も自分の情報発信なので、慎重に真意を見極めないといけないと思う。（5月31日、記 宮地）